

市民政党 草の根

<http://kusanone-iwakuni.net/>

第32号 2024年4月

発行 市民政党「草の根」
代表 井原勝介
住所 〒740-0017
山口県岩国市今津町
4-11-20
コーポ舂本 1階
電話 0827-21-9808
FAX 0827-21-9809



「知らなかった」「記憶にな
い」・・・
平気で嘘をつき、誰一人とし
て責任をとろうとしない、政治
の墮落ぶりにはほとほと呆れる。
この国の政治を変えたい！
その想いが役所を飛び出した
動機であり、その後の活動の究
極的目標であったが、今ほどそ
の思いが募るときはない。しか

政治の墮落

政治を変えたい！

代表 井原勝介

し、依然としてその道筋が定か
には見えず、内心忸怩たる想い
である。

とりあえず、今やるべきは、
次の総選挙で与党を大敗に追い
込み、政権交代を実現すること。

市民の手で

しかし、今回に限らず、政治
の間はもつと根深い。業界や団
体との癒着、利益誘導、買収、
そして世襲・・・政治はうさん
臭いものと敬遠され、投票率も
軒並み低下。戦後の民主主義は
すでに機能不全に陥っており、
国民は置き去りにされている。
このままでは、原発事故、そし
て戦争という同じ過ちを繰り返

すことになりかねない。

美しい自然、そこに育まれた
豊かな文化、そして礼儀正しく
穏やかな人々、私は、この国が
好きである。しかし、政治は大
嫌い。例えば核問題一つをとっ
ても、明確な理念も意思もなく
誇るべきものが何もない。こん
な政治しか持てなくて恥ずかし
いとさえ思う。

もはや小手先の改革ではどう
にもならない。政治を根本から
作り変える時期に来ており、そ
の担い手は主権者たる市民であ
るべき。

時代を動かす

すなわち、「草の根」の理念
としてこれまで繰り返し述べて
きたように、既存の政党に頼ら
ず、業界や団体など組織のしが
らみから解放された自由な市民
が横に連携し、新しい政治グルー
プをつくり、選挙を通じて現実

の政治を変えていく。市民の意
思が尊重される本物の民主主義
を私たちの手で創っていく、こ
うした動きを全国に広げていく
ときが来たのではないかと。

私たちには、お金も力もな
い。しかし、幸にして、イン
ターネットやSNSの技術が
急速に進歩。スマホ一つあれ
ば、全国の人と瞬時につなが
ることができる。つまり、技
術革新が時代を大きく動かす
きっかけになる

能登半島地震募金

3月12日、能登半島地震義援
金10万円を、井原すがこ県議が
代表して、日本赤十字社山口県
支部に届けました。ご協力あり
がとつございました。



喫緊の人口減少対策

2月27日から3月15日までの18日間県議会が開催され、来年度予算などについて審議が行われました。一般会計予算は総額約7440億円で、昨年度より500億円余の大幅減額となりましたが、その要因は、猛威を振るったコロナが5類に変更となり、対策費が大きく減少したことによるものです。

山口県の最大の課題は、20年後には100万人を切ると言われる人口流出・人口減少対策です。子育て支



錦帯橋ロードレースにて

援では、保育料や育休推進などが提示されましたが、私はそれ以前に、結婚を応援すべきだと考え一般質問に取り上げました。というのも、県内では非正規・臨時などで若者の雇用が不安定であり、また所得も低いので、とても結婚など考えられないというのが現実です。そこで若い人の雇用の安定、所得の向上に関する行政の支援を強く要請しました。

私の一般質問については、県議会報告で詳しく紹介していますのでご覧下さい。

県議 井原すがこ

草の根議員レポート



昨年、私の所に2件の切実なご相談がありました。1件目は、地元自治会長から、夏の雨不足の為に生活水の供給が制限されトイレやお風呂・洗濯など普段の生活が出来なくなっている

2011年3月11日に発生した東日本大震災。マグニチュード9の最大震度7を記録し、死者は1万5900人、行方不明者は2520人になった。13年経過した今も福島県の一部で避難指示は続き、故郷に戻れない住民や帰還を諦める住民も多く、

2件目は、錦見の方から昨年6月頃アルゼンチンアリが冷蔵庫の中にまで入り

はこうした人達の気持ちも共有し、持ちを共有し、何時までも寄り添い、ともに歩んで行かなければ

東電が津波対策をしつかり取っていただくと悔やまれる。生まれ育った故郷を離れる悲しさ、竹馬の友と別れる寂しさ、我々

帰還する原発政策



ばならない。岸田総理は、福島同様、能登半島地震での地震や津波と原発事故が重なる「複合災害」の危険が浮

き彫りとなった今でも、原発再稼働への考えを変えていない。3月9日、原発に関

はこうした人達の気持ちも共有し、持ちを共有し、何時までも寄り添い、ともに歩んで行かなければ

はこうした人達の気持ちも共有し、持ちを共有し、何時までも寄り添い、ともに歩んで行かなければ

切実なご相談



研究して対応します」とか、とりあえず「薬剤を配布していただきます」と、市民に寄り添い根本的に解決するという答弁で

はありませんでした。市には数年前から今回のお困り情報や相談は入っていたので、すでに適切な対策がとられていてもいい事案だと思います。これからも大災害への備えをはじめ、さまざまなお困り事や問題点などにきちんと対応し、皆さんが安全で安心して暮らせるように努めてまいります。

市議 広中英明

市議 重岡邦昭

政治とカネ

井原すがこ

おカネの問題をめぐって政治が大きく揺れています。県政の視点から政治資金のあり方を考えてみます。

政治資金パーティー

県政においても、政治資金パーティーが盛んに行われています。過去3年間に県内で開催された回数は全部で20回、収入総額は1億9千万円です。自民党山口県連は毎年1回定期的に開催しており、その収入額は4千万円から5千万円にも上ります。また、知事は平成29年に県内5ヶ所で行ったパーティーを開催し、収入総額は3千6百万円です。こうしたお金が遊興費や買収な

ど不正行為の温床になるものであり、この際、疑惑だらけのお金集めは止めるべきです。

収支報告書

政治資金の流れを透明化するために、政治団体は毎年収支報告書を選挙管理委員会に提出することになっており、市民政党「草の根」も私の後援会も2月に全ての収支を明らかにした報告書を提出しています。しかし、問題は、政治資金の使途に関する制限や基準がなく、遊興費なども認められ、さらには、選挙には強制的な調査権などもなく「使途不明」でも受理されることです。

収支報告書

<input type="checkbox"/> 政党の支部 <input type="checkbox"/> 政党の支店 <input type="checkbox"/> 政党の地方支部	
<input type="checkbox"/> 上記以外の組織	
<input type="checkbox"/> 選挙管理委員会の指定する名称	
<input type="checkbox"/> 選挙管理委員会の指定する名称	

少なくとも選挙管理委員会には違法行為を知ったときは公務員として告発の義務があります。今回の一般質問でも明らかにしようとしていた。思はありませぬ。このように、政治資金の制度には根本的な欠陥があり、早急に是正すべきです。

政治活動費

自民党県連の収支報告書によると、政治活動費として令和4年に県議会議員20名に一律50万円、令和3年には一人の幹事部員に総額1千6百万円が支給されています。議長には50億円もの政策活動

金額	日付	内容
105,000	R3/5/28	(有) 割烹補助
2,000,000	R3/6/18	同人物
85,112	R3/6/21	松田屋ホテル
3,000,000	R3/7/2	同人物
1,600,000	R3/7/17	同人物
2,400,000	R3/8/13	同人物
2,000,000	R3/9/24	同人物
137,000	R3/10/25	奉楽

費が支給されています。しかし、政治家個人には収支報告書の提出義務がなく、こうしたお金の使途は闇の中であり、この抜け穴を塞ぐ必要がありません。さらに、政治資金に関する確定申告の手引き(国税庁)には「政党から受けた政治活動費は雑所得」として、その収入額から政治活動費を除いた金額が課税される」と記載されています。つまり、差額の個人が受けたかかわりなく、確定申告する必要があると、誰か話すと聞かされたら、税務当局は強制的な調査を行うべきです。

草の根文芸

熟柿の食べ方を問う七歳にてっぺん噛んでそこから吸えと
 今日の日をなんとか終えて上がりたる二階のテレビも戦禍を報す
 「山小屋の灯」なども唄ったね仕事帰りのうたごえ喫茶
 中村蓉子
 倉谷節子
 藤伊花子



市民政党 草の根

党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご支援により支えられています。

今年度（1月～12月）の党費の納入をよろしくお願いいたします。

- ①お届けした振込み用紙で
- ②地域のお世話人へ
- ③直接事務所へ

党費 党員 1千円
特別党員 1万円

なお、すでに今年度の党費を納入済みの方には、振込用紙を同封しておりません。

かつすけウラ話



洗車

ある日、私が洗車をしているところへ帰宅した主人が、私の車の傍に斜めに自分の車を停めて、「洗い終わったら教えて、2台まっすぐ駐車してあげるから」とさっさと逃げてしまいました。フツウ「洗ってあげるよ」と言いませんか？まっすぐなら私でも停められます。……

（すがこ記）



草の根ネット案内



ちょこっと



政治の透明化を図ることを目的として、政治資金収支の公開や寄付の授受の規制などが行われているが、そこには大きな抜け穴が二つある。第一に、政治家個人に対する企業・団体献金は禁止されていない

法の抜け穴

るが、政党への献金はできる。さらに、今回問題になっている政治資金パーティを通じた金集めもいくらでもできる。第二に、政治団体には政治資金収支報告書の提出が義務付けられているが、これは政治家個人には適用されない。従って、自民党の幹部に支給されている多額多額の政策活動費の使途は不明であり、選挙の買収に使われているかもしれない。

草の根コラム

2月18日（日）に、4年振り「草の根」の運営会議が開かれ、昨年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算が満場一致で承認された。その後、事前の政策アンケートの内容も含め、代表や議員のみならず、参加者との自由な意見交換が行われた。

第15回運営会議

政治とカネでは収支報告書の修正だけでなく議員の職務すべし、米兵犯罪は辞職すべし、捜査・逮捕が最初、3万人減少、人口減少・過疎化対策が重要など、様々な課題について熱心な議論が行われた。また、次の衆議院選挙で権交代を望むという声も出された。